

## 日本地理学会 巡検報告の執筆要領 (2017年5月)

1. 日本地理学会巡検報告は、標準的なパソコン環境下において、巡検のオーガナイザーが原稿の基本的な組版を行う。標準文書フォーマットで書かれた Microsoft WORD 形式のテンプレート（ひな型）からダウンロードして、テンプレート上で文字などの入力を行うか、他のワープロやテキスト・エディタなどで作成した文書や画像をコピー&ペーストすることにより原稿を作成できる。
2. 書式は、巡検タイトル、オーガナイザー氏名のみ 1 段組、以下は 2 段組とする。なお、テンプレートは以下の書式となっている。
  - 巡検タイトル：MS ゴシック 14 ポイント、中央揃え
  - オーガナイザー氏名：MS ゴシック 11 ポイント、中央揃え
  - 章タイトル：MS ゴシック 9 ポイント、中央揃え
  - 本文：MS 明朝 9 ポイント、両端揃え
3. テンプレートでは、巡検の趣旨、日程・コース、巡検の概要と区分しているが、個々の巡検の形式に応じてカテゴリーを削除・変更できる。
4. ルートマップや現地で撮影された写真を、可能な限り掲載する。ただし、参加者等、人物が特定できる写真は避けることが望ましい。
5. テンプレート以外の本報告に関する執筆要領については、E-journal GEO (EJG) の執筆要領に準ずる。
6. ページ数は、原則として 4 ページ以内とする。ただし、編集委員会が認めれば、ページ数を増やすことができる。
7. 本報告の内容については、巡検のオーガナイザーが責任をもつものとする。